

大学番号：025

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 東京赤坂キャンパス事務部

職名・氏名 シムフチョウ ヤナギ タツヤ
事務部長 柳 辰哉

電話番号 03-5574-3900

(夜間) 03-5574-3900

F A X 03-5574-3901

e-mail tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

<医療マネジメント学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	32
2. 授業科目の概要	36
3. 施設・設備の整備状況、経費	43
4. 既設大学等の状況	44
5. 教員組織の状況	48
6. 附帯事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	60

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒107-8402

東京都港区赤坂4-1-26

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月1日)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月1日)		
学部長	(タカハシ タイ) 高橋 泰 (平成30年4月1日)	(ナカタ アキノリ) 中田 光紀 (令和2年4月1日)	一身上の都合(2)
学科長等	(ナカタ アキノリ) 中田 光紀 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	60人	一年次 一人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	60人 () [若干名]	() []	60人 () [若干名]	() []	60人 () [若干名]	() []	1.08倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	221 (-) [3]	() []	311 (-) [6]	() []	244 (-) [10]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	216 (-) [3]	() []	301 (-) [6]	() []	240 (-) [9]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	139 (-) [2]	() []	107 (-) [1]	() []	110 (-) [4]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [2]	() []	64 (-) [0]	() []	62 (-) [3]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.15		1.06		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	69 [2] (-)	— [] ()	65 [-] (1)	— [] ()	62 [3] (-)	— [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		66 [2] ()	— [] ()	64 [-] (-)	— [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		64 [2] (-)	— [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	69 [2] (-)	—	131 [2] (1)	—	190 [5] (-)	—	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	69 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	学生個人の心身の事情に関するもの(1名)、他の教育機関への進学希望(1名)
令和元年度	131 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就職(2名)、除籍(1名)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	190 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		5 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身の事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{69} = \boxed{2.89} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{131} = \boxed{2.29} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{190} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	2			3	5		1		3
	コミュニケーション概論	1前	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2				1				
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前		2		1					
	国際医療福祉論	1234前		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2							1
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234前		2							1
	コンピュータの基礎	1234前		2							1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学／医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1			1		1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1			1			1		1
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1234後		2							1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								2
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1							2
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							2
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								2
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							2
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1
	関連職種連携論	2後	2			1					
	関連職種連携実習	4前		1							1
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2							1
	災害医療論	1234後		2							1
	心理学史	1後	2				1				
	臨床心理学概論	2前	2								1
	知覚・感覚の心理学	1前	2								1
	記憶・学習の心理学	1後	2								1
	個人差の心理学	3前	2			1					
	生理心理学	3後	2			1					
	精神医学	3前	2			1					
	心身医学	3後	2	2		1					
	社会心理学	3後	2			1					
	心理統計学講義Ⅰ(単変量解析)	1前	2			1					
	心理統計学講義Ⅱ(多変量解析)	2前	2			1					
	心理統計学演習Ⅰ(単変量解析)	1後	1			1					
	心理統計学演習Ⅱ(多変量解析)	2後	1			1					
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								1
	心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								1
	生涯発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1					
	生涯発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2			1					
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2				1					
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2			1						
障害者(児)の心理学	2前	2								1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	心理学概論	1前	2			1	4				2	3
	コミュニケーション概論	1後	2								1	
	雑談と傾聴	1前	2									1
	人間学	1234後		2								1
	宗教学	1234後		2								1
	日本近現代史	1234後		2								1
	教育学	1234後		2								1
	死生学	1234前		2								1
	法学	1後	2									1
	社会学	1234前		2								1
	国際医療福祉論	1234後		2								1
	海外保健福祉事情	1234通		2								1
	ボランティア論	1234後		2								1
	経済学	1234前		2								1
	数学	1前	2				1					
	生物学	1234後		2								1
	コンピュータの基礎	1234後		2								1
	生命倫理	1234後		2								1
	医学／医療史	1234前		2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1								2	1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1								2	1
	医療福祉教養講義	1234後		1								1
	メディカルマナー入門	1234後		2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1									1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1									1
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1								1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1									1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1								1
	健康科学理論	1234前		1								1
	健康科学実践	1234後		1								1
小計(33科目)												
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2								1
	関連職種連携論	2後	2						1			1
	関連職種連携実習	4前		1								1
	保健医療福祉制度論	1234後		2								1
	リスクマネジメント論	1234前		2								1
	災害医療論	1234後		2								2
	心理学史	1後	2					1				
	臨床心理学概論	2前	2									1
	知覚・認知心理学	1前	2									1
	学習・言語心理学	1後	2									1
	感情・人格心理学	3前	2					1				
	神経・生理心理学	3後	2					1				
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2									1
	精神疾患とその治療	3前	2					1				
	心身医学	3後	2	2		1						
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								1	
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1						
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2			1						
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1						1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1			1						
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1									2
	心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1									2
	発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2									1
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2					1					
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2					1					
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2						2				
障害者・障害児心理学	2後	2										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育心理学	2後	2								1
	心理学入門演習	1通	2			3	4		1		
	心理学初級演習	2通	2			3	4		1		
	臨床心理援助の倫理	3前	2				1				
	心理療法概論	3前	2				1				
	心理学中級演習	3通	2			3	4		1		
	心理学上級演習	4通	2			3	4		1		
	臨床心理アセスメント講義	2後	2				1				
	臨床心理アセスメント演習	3通	2				3		1		1
	心理療法演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1				
	心理療法演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1								1
	心理療法演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1					
	家族心理学	3前	2				1				
	家族援助技法講義	3後		2		1					
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	4		1		3
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
	臨床心理学的地域援助論	4前		2		1					
	環境心理学	4前		2		1					
	健康心理学	2後		2					1		
	精神保健学	3後		2		1					
	組織心理学	4前		2		1					
	犯罪(司法)心理学	3前		2			1				
	臨床心理基礎実習	2前		1			1				
	臨床心理実習Ⅰ(福祉領域)	2後		1			3				
	臨床心理実習Ⅱ(保健・医療領域)	3前		1			3				
	臨床心理実習Ⅲ(保育・教育領域)	3後		1		1	2				
	臨床心理実習Ⅳ(産業・司法領域)	3後		1			2		1		
	家族関係論演習	4前		1		1					
	家族発達論	3後		2		1					
	メンタルヘルス制度論	3前		2		1			1		
	メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1			1		
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1			1			
小計(58科目)	-										
合計(91科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育・学校心理学	2後	2								
	心理学入門演習	1通	2					1	1		1
	心理学初級演習	2通	2							2	1
	公認心理師の職業心理学的支援法	3前	2						1		
	心理学中級演習	3通	2					2	4		
	心理学上級演習	4通	2					2	4		2
	心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2								1
	心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2							3	2
	心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1							3	1
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1							2	1
	心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1				1	1
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2								1
	家族援助技法講義	3後		2		1					1
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		1					1
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					1
	福祉心理学	4前	2							2	
	環境心理学	4前		2		1					
	健康・医療心理学	2後	2							1	
	精神保健学	3後	2			1					
	産業・組織心理学	4前	2								1
	司法・犯罪心理学	3前	2							2	
	心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1							2	1
	心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1						3	
	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1							3	
	心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後	1								1
	心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後	1						1		
	家族関係論演習	4前		1							1
	家族発達論	3後		2							1
	関係行政論	3前	2							3	1
	メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1							1
	メンタルヘルス支援演習	4前		1							1
小計(59科目)	-										
合計(92科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2			2	5		1		3
	コミュニケーション概論	1後	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2			1					
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前		2		1					
	国際医療福祉論	1234後		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2							1
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234後		2							1
	コンピュータの基礎	1234後		2							1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1					1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1						1		1
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1234後		2							1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1							1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)		-									
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1
	関連職種連携論	2後	2								1
	関連職種連携実習	4前		1							1
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2							1
	災害医療論	1234後		2							1
	心理学史	1後	2				1				
	臨床心理学概論	2前	2								1
	知覚・認知心理学	1前	2								1
	学習・言語心理学	1後	2								1
	感情・人格心理学	3前	2			1					
	神経・生理心理学	3後	2			1					
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
	精神疾患とその治療	3前	2			1					
	心身医学	3後	2	2		1					
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2			1					
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1					1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1			1					
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								1
心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								1	
発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1						
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2									
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2			1						
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2				1					
障害者・障害児心理学	2前	2								1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2			2	5		1		3
	コミュニケーション概論	1後	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2			1					
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前		2		1					
	国際医療福祉論	1234後		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2							1
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234後		2							1
	コンピュータの基礎	1234後		2							1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1						1		1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1						1		1
	医療福祉教養講義	1234後		1						1	1
	メディカルマナー入門	1234後		2							1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1							1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)		-									
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1
	関連職種連携論	2後	2						1		1
	関連職種連携実習	4前		1							1
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2							1
	災害医療論	1234後		2							1
	心理学史	1後	2				1				
	臨床心理学概論	2前	2						1		
	知覚・認知心理学	1前	2								1
	学習・言語心理学	1後	2								1
	感情・人格心理学	3前	2			1					
	神経・生理心理学	3後	2			1					
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
	精神疾患とその治療	3前	2			1					
	心身医学	3後	2	2		1					
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2			1					
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1					1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1			1					
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								2
心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								2	
発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1						
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2						1			
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2			1						
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2						2			
障害者・障害児心理学	2前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育・学校心理学	2後	2								1
	心理学入門演習	1通	2			3	4		1		
	心理学初級演習	2通	2			3	4		1		
	公認心理師の職責	3前	2				1				
	心理学的支援法	3前	2				1				
	心理学中級演習	3通	2			3	4		1		
	心理学上級演習	4通	2			3	4		1		
	心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2				1				
	心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				3		1		1
	心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1				
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1								1
	心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1					
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2								
	家族援助技法講義	3後		2		1					
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	4		1		3
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
	福祉心理学	4前	2				2				1
	環境心理学	4前		2		1					
	健康・医療心理学	2後	2								
	精神保健学	3後	2			1					
	産業・組織心理学	4前	2			1					
	司法・犯罪心理学	3前	2				2				
	心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				1				
	心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1			3				
	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1				3				
	心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1		1	2				
	心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1			2		1		
	家族関係論演習	4前		1		1					
	家族発達論	3後		2		1					
関係行政論	3前	2			1	2				2	
メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1			1			
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1			1			
小計(59科目)	-										
合計(92科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育・学校心理学	2後	2								1
	心理学入門演習	1通	2			3	4		1		1
	心理学初級演習	2通	2			3	4		1		1
	公認心理師の職責	3前	2				1				
	心理学的支援法	3前	2				1				
	心理学中級演習	3通	2			3	4		1		1
	心理学上級演習	4通	2			3	4		1		1
	心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2				1				1
	心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				3		1		1
	心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1			1	3		1		1
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1			2	3		1		1
	心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1	1				1
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2								
	家族援助技法講義	3後		2		1					
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	3		1		
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
	福祉心理学	4前	2				2				1
	環境心理学	4前		2		1					
	健康・医療心理学	2後	2				1				
	精神保健学	3後	2			1					
	産業・組織心理学	4前	2			1					
	司法・犯罪心理学	3前	2				2				
	心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				2	3		1	1
	心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1			3				
	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1			2	3		1		
	心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1		1	1				
	心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1			1		1		
	家族関係論演習	4前		1		1					
	家族発達論	3後		2		1					
関係行政論	3前	2			1	3					
メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1	1					
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1	1					
小計(59科目)	-										
合計(92科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理学」から「心理学概論」に変更。併せて専任教員の配置を「教授3」「准教授5」「助教1」「兼担3」から「教授2」「准教授5」「助教1」「兼担3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「コミュニケーション概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療福祉論」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「生物学」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「コンピュータの基礎」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅰ」の専任教員配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」「助教1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語講読Ⅰ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語CALLⅠ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語CALLⅡ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅰ」の兼任教員配置を「2」からネイティブスピーカーの「1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅱ」の兼任教員配置を「2」からネイティブスピーカーの「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関連職種連携論」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」に変更し、兼任教員1名が担当。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「知覚・感覚の心理学」から「知覚・認知心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「記憶・学習の心理学」から「学習・言語心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「個人差の心理学」から「感情・人格心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生理心理学」から「神経・生理心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「人体の構造と機能及び疾病」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「精神医学」から「精神疾患とその治療」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅰ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学講義Ⅰ」から「心理学統計法Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学講義Ⅱ」から「心理学統計法Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学演習Ⅰ」から「心理学統計法Ⅲ」に変更。併せて兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学演習Ⅱ」から「心理学統計法Ⅳ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生涯発達心理学Ⅰ」から「発達心理学Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生涯発達心理学Ⅱ」から「発達心理学Ⅱ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「障害者（児）の心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「教育心理学」から「教育・学校心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「公認心理師の職責」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理援助の倫理」から「心理学的支援法」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「心理療法概論」を廃止。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理アセスメント講義」から「心理的アセスメントⅠ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理アセスメント演習」から「心理的アセスメントⅡ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅲ」から「心理演習Ⅲ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅱ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「臨床心理学的地域援助論」を廃止。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「福祉心理学」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「健康心理学」から「健康・医療心理学」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「助教1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「組織心理学」から「産業・組織心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「犯罪（司法）心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更。併せて専任教員の配置「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理基礎実習」から「心理実習Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅰ」から「心理実習Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅱ」から「心理実習Ⅲ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅲ」から「心理実習Ⅳ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理応用実習」から「心理実習Ⅴ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「関係行政論」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「メンタルヘルス制度論」を廃止。

【令和元年度】

- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ」の専任教員の配置を「助教1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携論」の専任教員の配置を「兼任1」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携実習」の専任教員の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「臨床心理学概論」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「感情・人格心理学」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学実験Ⅰ」の教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学実験Ⅱ」の教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「発達心理学Ⅱ」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学入門演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学初級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学中級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学上級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授2」「准教授4」「助教2」「兼任1」に変更。
- ・専任教員退職により、「心理的アセスメントⅠ」の教員の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅱ」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「家族援助技法演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授4」「助教1」「兼任3」から「教授2」「准教授3」「助教1」に変更。
- ・新規教員着任により、「健康・医療心理学」の教員の配置を「未定」から「准教授1」に変更（平成30年6月教員審査済み）。
- ・教育効果を考慮し、「心理実習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理実習Ⅲ」の専任教員の配置を「准教授3」から「教授2」「准教授3」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅳ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅴ」の専任教員の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関係行政論」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「兼任2」から「教授1」「准教授3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「メンタルヘルスチェック制度演習」の専任教員の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「メンタルヘルス支援演習」の専任教員の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。

【令和2年度】

- ・担当科目の見直しにより、「心理学概論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授5」「助教1」「兼任3」から「教授1」「准教授4」「助教2」「兼任3」に変更。
- ・専任教員退職により、「雑談と傾聴」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員退職により、「社会学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅱ（展開）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語講読Ⅱ（Basic）」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・感染症拡大の影響により「保健医療福祉制度論」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「災害医療論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・新任教員着任により、「社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）」の専任教員等の配置を「未定」から「助教1」に変更。
- ・専任教員退職により、「発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・兼任教員退職により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「未定（後任選考中）」に変更。
- ・前任の兼任教員の退職により、緊急措置として開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・新任教員着任により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授1」「准教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学初級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学中級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授2」「准教授4」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学上級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授2」「准教授4」「助教2」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理的アセスメントⅠ（講義）」の専任教員等の配置を「兼任1」から「助教1」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理的アセスメントⅡ（演習）」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授3」「助教2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理演習Ⅰ（人間理解）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理演習Ⅱ（ロールプレイング）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授2」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理演習Ⅲ（事例検討）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼任1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更した。
- ・新規教員着任により、「社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）」の専任教員等の配置を「未定」から「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家族援助技法講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「家族援助技法演習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家族援助技法演習Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「産業・組織心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授2」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅲ（保健・医療領域）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」から「准教授3」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「心理実習Ⅳ（保育・教育領域）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「家族関係論演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員退職により、「家族発達論」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」から「准教授3」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「メンタルヘルスチェック制度演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「メンタルヘルス支援演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	48 科目	0 科目	91 科目	48 科目 [5]	44 科目 [Δ4]	0 科目 [0]	92 科目 [1]	公認心理師法改正に伴う カリキュラム改編のため

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	心理療法概論	2	3前	専門	必修	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため
2	臨床心理学的地域援助論	2	4前	専門	必修	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため
3	メンタルヘルス制度論	2	3前	専門	選択	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

公認心理師法施行に伴うカリキュラムの全般的な見直しによる授業科目の改編で廃止した科目であり、新法制下で学ぶ学生に配慮した結果である（必修2科目・選択1科目廃止⇒必修4科目追加）。なお、入学前の改編であることから、学生には周知していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{91} = \boxed{3.29} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地に国際医療福祉大学市川病院を追加(H29.9.1事業承継)(30) 大学全体			
	校舎敷地	276,538㎡ 269,519㎡	0㎡	0㎡	276,538㎡ 269,519㎡				
	運動場用地	100,751㎡	0㎡	0㎡	100,751㎡				
	小 計	377,289㎡ 370,270㎡	0㎡	0㎡	377,289㎡ 370,270㎡				
	そ の 他	113,975㎡	0㎡	0㎡	113,975㎡				
	合 計	491,264㎡ 484,245㎡	0㎡	0㎡	491,264㎡ 484,245㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	(178,828㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(178,828㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス全体			
	12室	34室	3室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			研究室配置の見直しのため(元)			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科		11 40 (うち共同研究室6 5室) 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部全体 (電子ジャーナルは大学全体)	
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	6,035 [578] (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
	計	6,035 [578] (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					キャンパス全体	
	696.43㎡	85	31,610						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					キャンパス全体		
	601.62㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	25,973千円 30,000千円	2,999千円 3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	252,081千円 229,658千円	1,500千円	1,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,110千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、試算運用収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	840	-			-	平成29年度		-
医学科	6	140	-	840	学士(医学)	1.00	1.00	-	平成29年度		千葉県成田市公津の杜4丁目3番
保健医療学部	4	535	-	2,180	-			-	平成7年度		-
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	0.98	1.03	-	平成7年度		栃木県大田原市北金丸2600番1
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法学)	0.99	1.00	-	平成7年度		同上
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法学)	0.97	1.01	-	平成7年度		同上
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚学)	1.03	1.08	-	平成7年度		同上
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法学)	1.00	1.08	-	平成14年度		同上
放射線・情報科学科	4	110	-	480	学士(放射線・情報科学)	1.01	1.06	-	平成7年度		同上
医療福祉学部	4	140	5	570	-			-	平成9年度		-
医療福祉・マシント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マシント学)	0.98	1.07	-	平成9年度		同上
薬学部	6	180	-	1,080	-			-	平成18年度		-
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.01	-	平成18年度		同上
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-			-	平成18年度		-
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.07	1.08	-	平成18年度		神奈川県小田原市城山一丁目2番25号
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.04	1.08	-	平成18年度		同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.03	1.05	-	平成18年度		同上
福岡看護学部	4	100	-	400	-			-	平成20年度		-
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.08	1.05	-	平成20年度		福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4
福岡保健医療学部	4	220	-	940	-			-	平成17年度		-
理学療法学科	4	60	-	300	学士(理学療法学)	1.09	1.06	-	平成17年度		福岡県大川市榎津137-1
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.03	1.00	-	平成17年度		同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.03	1.00	-	平成19年度		同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.09	1.21	-	平成25年度		同上
福岡薬学部	6	120	-	720	-			-	令和2年度		-
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.09	1.09	-	令和2年度		同上

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
成田看護学部	4	100	-	400	-			-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,160	-			-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	1.06	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.06	1.05	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士(放射線・情報科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	-	480	-			-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.08	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26	
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士(医療マネジメント)	1.01	1.03	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,145	5	9,570	-	-	-	-	平成7年度	-	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.29	1.22	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士(保健医療学)	1.54	1.51	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士(看護学)			-			
					修士(助産学)			-			
					修士(言語聴覚学)			-			
					修士(生殖補助医療学)			-			
					修士(医療福祉教育・管理学)			-			
					修士(臨床検査学)			-			
					修士(災害医療学)			-			

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (遺伝カウンセリング学)	1.34	1.20	-	平成13年度	同上
					修士 (医療福祉学)			-		
					修士 (診療情報管理学)			-		
					修士 (医療ビジネス経営学)			-		
					修士 (医療福祉管理学)			-		
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-		
					修士 (自立支援介護学)			-		
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)			-		
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-		
					修士 (医療通訳・国際医療マネジメント学)			-		
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	0.96	-	平成19年度	同上
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.29	1.14	-	平成13年度	-
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.29	1.14	-	平成13年度	同上
					博士 (看護学)			-		
					博士 (助産学)			-		
					博士 (言語聴覚学)			-		
					博士 (生殖補助医療学)			-		
					博士 (臨床検査学)			-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
					博士 (医療福祉経営学)			-			
					博士 (医療福祉学)			-			
					博士 (診療情報管理学)			-			
					博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-			
					博士 (臨床心理学)			-			
					博士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	0.20	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	0.20	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.70	0.80	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.70	0.80	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.70	2.00	-	平成30年度	-	
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生学)	1.70	2.00	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.03	0.90	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.03	0.90	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	345	-	810	-	1.02	1.04	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (53) <平成30年4月> 博士(医学)				
		心理学 個人差の心理学 心理統計学講義Ⅰ(単変量解析) 心理統計学講義Ⅱ(多変量解析) 心理統計学演習Ⅰ(単変量解析) 心理統計学演習Ⅱ(多変量解析) 心理学研究法Ⅱ(質的研究法) 環境心理学 組織心理学 メンタルヘルス制度論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学概論 感情・人格心理学 心理統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学 産業・組織心理学 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学概論 心理統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学 産業・組織心理学 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学概論 心理統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学				
専	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (71) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (72) <平成30年4月> 博士(教育心理学)				
		心理学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族心理学 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学中級演習 心理学上級演習 心理演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)				
専	教授	村上 正人 (68) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (68) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (69) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (70) <平成30年4月> 医学博士				
		心身医学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習	心身医学	心身医学	心身医学				
専	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (63) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (64) <平成30年4月> 博士(経済学)				
		数学	数学	数学	数学				
専	教授	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士	川上 和久 (61) <平成30年4月> 社会心理学修士					
		社会学 社会心理学	社会学	社会学					
専	教授	平島 奈津子 (59) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (59) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (60) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (61) <平成32年4月> 博士(医学)				
		精神保健学	精神保健学	精神保健学	精神保健学				
専	教授	和田 秀樹 (57) <平成32年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (59) <平成30年4月> 博士(医学)				
		精神医学	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療 発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期) 心理演習Ⅰ(人間理解) 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	精神疾患とその治療 発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)				
専	教授	青木 万里 (55) <平成30年4月> 博士(心理学)	青木 万里 (55) <平成30年4月> 博士(心理学)	青木 万里 (56) <平成30年4月> 博士(心理学)	青木 万里 (56) <平成30年4月> 博士(心理学)				
		心理学 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 生涯発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 生涯発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 臨床心理学の地域援助論 臨床心理実習Ⅲ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理実習Ⅳ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅳ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論 大学入門講座Ⅱ(展開) 臨床心理学概論 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	山川 誠司 (53) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	専	助教	山川 誠司 (53) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	専	助教	山川 誠司 (54) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	専	助教	山川 誠司 (55) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)			
兼担	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼担	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	岡本 淳子 (73) <平成30年4月> 文学士						
兼担	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	兼担	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	兼担	教授	飯長 喜一郎 (73) <平成30年4月> 教育学修士						
兼担	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	兼担	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	兼担	教授	鹿島 晴雄 (73) <平成30年4月> 医学博士						

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	兼任	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	兼任	武藤 正樹 (70) <平成30年4月> 医学博士	兼任	武藤 正樹 (71) <平成30年4月> 医学博士		
		リスクマネジメント論		リスクマネジメント論		リスクマネジメント論		リスクマネジメント論		
兼任	教授	丸木 一成 (69) <平成30年4月> 教育学士			兼任	丸木 一成 (70) <平成31年4月> 教育学士	兼任	丸木 一成 (71) <平成31年4月> 教育学士		
		大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)				保健医療福祉制度論		保健医療福祉制度論		
			兼任	高橋 泰 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	高橋 泰 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	高橋 泰 (61) <平成30年4月> 博士(医学)		
				関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病		関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病		関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病		
			兼任	小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学学士	兼任	小畑 洋一 (63) <平成30年4月> 文学学士	兼任	小畑 洋一 (64) <平成30年4月> 文学学士		
				大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)		大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)		大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)		
兼任	教授	金野 充博 (61) <平成30年4月> 政治学士								
		保健医療福祉制度論								
			兼任	石山 麗子 (49) <平成30年4月> 博士(医療福祉学)						
				保健医療福祉制度論						
兼任	教授	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	黒澤 和生 (61) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	黒澤 和生 (62) <平成30年4月> 博士(保健学)		
		医学/医療史		医学/医療史		医学/医療史		医学/医療史		
兼任	教授	北村 義浩 (57) <平成30年4月> 医学博士								
		国際医療福祉論								
			兼任	後藤 純信 (46) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	後藤 純信 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	後藤 純信 (48) <平成30年4月> 博士(医学)		
				国際医療福祉論		国際医療福祉論		国際医療福祉論		
兼任	教授	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	谷口 敬道 (53) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	谷口 敬道 (54) <平成30年4月> 博士(工学)		
		医療福祉教養講義		医療福祉教養講義		医療福祉教養講義		医療福祉教養講義		
兼任	教授	望月 聡一郎 (49) <平成30年4月>	兼任	望月 聡一郎 (49) <平成30年4月>	兼任	望月 聡一郎 (50) <平成30年4月>				
		災害医療論		災害医療論		災害医療論				
					兼任	村瀬 真一 (56) <平成30年9月> 博士(医学)				
						生物学				
							兼任	木村 伊量 (66) <令和2年4月> 学士(政治学)		
								人間学		
							兼任	横山 和仁 (67) <令和2年4月> 医学博士		
								公衆衛生学		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	准教授	田中 泰郎 (59) <平成30年4月> MA for TEFL/TESL (英国)							兼任	教授
		英語講読Ⅰ (Primary) 英語講読Ⅱ (Basic) 英語CALLⅠ (Primary) 英語CALLⅡ (Basic) 英語会話Ⅰ (Primary) 英語会話Ⅱ (Basic)								災害医療論
			兼任	准教授					兼任	准教授
		千葉 礼子 (52) <平成30年4月> 文学修士								千葉 礼子 (54) <平成30年4月> 文学修士
		英語講読Ⅰ (Primary) 英語講読Ⅱ (Basic)								英語講読Ⅰ (Primary) 英語講読Ⅱ (Basic)
兼任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士 (医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士 (医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (53) <平成32年4月> 博士 (医学)		
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学		
兼任	准教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士 (保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士 (保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (49) <平成30年4月> 博士 (保健医療学)	兼任	教授
		健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論		
兼任	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士 (法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士 (法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (48) <平成30年4月> 修士 (法学)	兼任	准教授
		海外保健福祉事情			海外保健福祉事情			海外保健福祉事情		
兼任	准教授	福井 譲 (46) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授	福井 譲 (46) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授	福井 譲 (47) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史		
兼任	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士 (理学)	兼任	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士 (理学)	兼任	准教授	篠原 信夫 (45) <平成30年4月> 修士 (理学)		
		コンピュータの基礎			コンピュータの基礎			コンピュータの基礎		
兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士 (社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士 (社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (43) <平成30年4月> 修士 (社会福祉学)	兼任	准教授
		ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論		
			兼任	准教授	光山 奈保子 (50) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (51) <平成30年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授
					経済学			経済学		
			兼任	准教授	坂本 真史 (44) <平成30年4月> 法務博士 (専門職)	兼任	准教授	坂本 真史 (45) <平成30年4月> 法務博士 (専門職)	兼任	准教授
					法学			法学		
									兼任	准教授
										渡邊 志 (49) <令和2年4月> 博士 (学術)
										コンピュータの基礎
									兼任	准教授
										橋本 和典 (46) <令和2年4月> 博士 (教育学)
										心理学概論 発達心理学Ⅰ (胎児期から青年期) 心理学初級演習 心理学上級演習 心理演習Ⅰ (人間理解) 心理演習Ⅱ (ロールレイング) 心理実習Ⅰ (基礎) 心理実習Ⅲ (保健・医療領域) 心理実習Ⅳ (保育・教育領域) 心理実習Ⅴ (産業・司法領域)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・和田秀樹教授の担当科目の開講は平成32年度であるが、学生指導等に携わっていただくため平成30年度就任に変更。
- ・学内都合により丸木一成教授の異動ができなくなったため、小畑洋一教授に変更（教員審査省略）。
- ・石山麗子教授着任に伴い、金野充博教授から変更（教員審査省略）。
- ・北村義浩教授退職のため、後藤純信教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により田中泰郎准教授の担当が難しくなったため、千葉礼子准教授、及び新たに着任したチェンバレン暁子講師、マシュー・マグラフリン・ジェームス講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により佐藤寛子講師の担当が難しくなったため、千葉礼子准教授、及び新たに着任したチェンバレン暁子講師、マシュー・マグラフリン・ジェームス講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により宮森隆行講師の担当が難しくなったため、久永哲雄講師に変更（教員審査省略）。
- ・寺田佳孝講師退職のため、鶴田利郎講師に変更（教員審査省略）。
- ・坂本真史准教授着任に伴い、奥津康祐講師から変更（教員審査省略）。
- ・光山奈保子准教授着任に伴い、廣瀬千秋講師から変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師法施行に伴う新科目担当者として、平成32年4月竹内瑠美講師就任予定（教員審査省略）。

【令和元年度】

- ・平成30年9月小堀修准教授が就任。平成30年6月教員審査済み。
- ・波田野茂幸准教授が平成31年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い青木万里教授、和田秀樹教授、小島秀吾准教授、小野寺敦志准教授、白井明美准教授、小堀修准教授、山川誠司助教に変更（教員審査実施済み）。心理的アセスメントIについては軽部雄輝助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により石山麗子教授の担当が難しくなったため、丸木一成教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により林真理子講師の担当が難しくなったため、村瀬真一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により久永哲雄講師の担当が難しくなったため、小高晃講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により相澤裕紀講師の担当が難しくなったため、玉木賢太郎講師、及び鷹阪龍太講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により竹内瑠美講師の担当が難しくなったため、小野寺敦志准教授、及び中田光紀教授に変更（教員審査済み）。

【令和2年度】

- ・令和元年9月軽部雄輝助教が就任。令和元年5月教員審査済。
- ・令和2年4月亀山晶子助教が就任。令和元年7月教員審査済。
- ・川上和久教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、小田中悠講師に変更（教員審査省略）。
- ・青木万里教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い、軽部雄輝助教（令和元年5月教員審査済）、亀山晶子助教（令和元年7月教員審査済）、橋本和典准教授（教員審査省略）、袴田優子講師（教員審査省略）に変更。
- ・穴水幸子准教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、袴田優子講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により鹿島晴雄教授の「人間学」の担当が難しくなったため、木村伊量教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により村瀬真一教授の担当が難しくなったため、山田晋之介助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により篠原信夫准教授の担当が難しくなったため、渡邊志准教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により岡本淳子教授の担当が難しくなったため、白井明美准教授に変更（教員審査中、5月末伝達予定）。
- ・自己都合等により飯長喜一郎教授の担当が難しくなったため、橋本和典准教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により望月聡一郎教授の担当が難しくなったため、石井美恵子教授、内海清乃助教に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により小川俊夫准教授の担当が難しくなったため、横山和仁教授に変更（教員審査省略）。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	5	0	1	15	0	7	4	0	3	14	0
(6)	(5)	(0)	(1)	(12)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	4	0	3	14	0	8	4	1	3	16	0
[Δ2]	[Δ1]	[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[Δ1]	[1]	[2]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	波田野 茂幸	H31.3	必修	心理学概論	①	自己都合により辞任（元）			
				必修	心理学入門演習	①				
				必修	心理学初級演習	①				
				必修	心理学中級演習	①				
				必修	心理学上級演習	①				
				必修	心理的アセスメントⅠ	②				
				必修	心理的アセスメントⅡ	①				
				選択	家族援助技法演習Ⅰ	①				
				必修	心理実習Ⅰ	①				
				選択	心理実習Ⅱ	①				
				選択	心理実習Ⅳ	①				
				選択	心理実習Ⅴ	①				
2	教授	青木 万里	R2.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任（2）			
				必修	大学入門講座Ⅰ（基礎）	①				
				必修	大学入門講座Ⅱ（展開）	①				
				必修	心理学入門演習	①				
				必修	心理学初級演習	①				
				必修	心理学中級演習	①				
				必修	心理学上級演習	①				
				必修	発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）	②				
				必修	臨床心理学概論	②				
				必修	心理演習Ⅱ（ロールレイング）	②				
				必修	心理実習Ⅰ（基礎）	②				
				必修	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	②				
				選択	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	②				
				選択	家族援助技法演習Ⅰ（基礎）	①				
選択	家族関係論演習	①								
選択	家族発達論	①								
3	教授	川上 和久	R2.3	選択	社会学	②	自己都合により辞任（2）			
4	准教授	穴水 幸子	R2.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任（2）			
				必修	雑談と傾聴	②				
				必修	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	②				
				選択	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	②				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	23	科目	必修	13	科目	必修	10	科目
		選択	10	科目	選択	7	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	33	科目	計	20	科目	計	13	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4 人	必修	23 科目	必修	13 科目	必修	10 科目	必修	0 科目
	選択	10 科目	選択	7 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	33 科目	計	20 科目	計	13 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{15} = 26.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>全員必須科目の授業時間内に退職の旨をあらかじめ口頭にて周知連絡をした。さらに新たな科目担当者についてはシラバスに明記し、かつWeb上で閲覧可能としている。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設 置 時 (平成30年4月)	<p>臨地実習は観察学習や見学を行うこととしている一方で、実習内容では、「きびきびとした動作で仕事ができる」ことや、「ゆっくりと、大きな声でいねに説明できる」ことなど、作業実習を行うように見受けられることから、整合性が取れていない。また、各領域の実習科目の内容について、対象実習施設以外はほぼ同様の記載であり、各領域の実習科目の具体的内容が学生にとって分りにくい。以上の点から、各領域の実習の内容の違いや、実習で「見学」に重きを置くのであればそのことを、実習要項及びシラバス等で明確に示すこと。</p>	<p>留意事項</p> <p>留意事項での指摘に従い、心理実習Ⅰおよび心理実習Ⅱにおいてシラバスを修正した。実習要項の各領域の実習科目の内容については、指摘に沿って修正した。いずれも各領域の内容と目的、違いが明確になるようにした。</p> <p>3年次に開講される心理実習Ⅲ、心理実習Ⅳ、心理実習Ⅴのシラバスについても留意事項を踏まえて修正中である。 (元)</p> <p>3年次に開講される心理実習Ⅲ、心理実習Ⅳ、心理実習Ⅴのシラバスを修正し、学生に公開すると同時に、実習要項を配布した。(2)</p>	履行中	<p>実習前には、実習要項をもとに学生に再度説明を行う予定である。</p>
設 置 時 (平成30年4月)	<p>心理学に関する演習（入門・初級・中級・上級）のうち入門・初級について、内容が「心理学」の演習であるのか明確ではないため、心理学で求められる統計調査等、心理学に関する内容を行うことで専門基礎科目としてふさわしい内容となるようシラバスを修正すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>留意事項での指摘に従い、心理学入門演習および心理学初級演習においてシラバスを修正し心理学に関する演習であることが明確になるようにした。なお修正シラバスにはそれぞれ第27回及び28回の授業で「心理学で求められる統計調査」「心理学で求められる統計法」を含め、心理学に関する様々な統計法を学び、全体を通して専門領域に関する研究の基礎を習得できるようにした。(30)</p>	履行済	
設 置 時 (平成30年4月)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>平成30年9月1日付で41才（就任時年齢）の准教授1名を採用し就任している（平成30年6月教員審査済み）。 (元)</p> <p>令和元年9月1日付で31才（就任時年齢）の助教1名、令和2年4月1日付で38才（就任時年齢）の助教1名を採用し、就任している（両教員とも教員審査受審済み）。また、30代・40代の教員の任用を予定しており、教員審査受審に向けて準備中である。(2)</p>	履行中	<p>今後も積極的に若手教員を任用・採用する方針を継続していく予定である。</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
学則に基づき大学としてFD委員会を置き、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部ではFD・SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
令和元年度には年間5回の委員会を実施。また全キャンパスのFD委員長が参加するFD委員長会議は年間2回実施し、活発な議論を行っている。

c 委員会の審議事項等
FD研修会やSD研修会の企画・実施、及び授業アンケートの実施等。

② 実施状況

a 実施内容と方法、開催状況

ア) 大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月）
キャンパスが持ち回りで主催。遠隔テレビ会議システムを使用して実施し原則全教員が参加する。外部講師を招聘しIPE、ポートフォリオなどのテーマで講演を行う。令和元年度テーマは「本学の海外保健福祉事情/海外医療体験の歴史と現状と課題」として開催した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会（2月に実施）
「発達障害の傾向のある学生への対応」をテーマとして、外部講師による講演会を開催し、斬新な視点からのアプローチについて学んだ。

ウ) 事務職員研修（年2回、9月、2月）
令和元年度テーマは、総務・人事・経理・医事。各部門長が講師となって職員向けに勉強会を実施。その後に確認テストを行い知識の定着を促す。

b 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和元年度2回の教員研修会についてはいずれも参加教員の満足度は大変高く、学生指導に有効であるとの感想が寄せられた。具体的な授業などへの反映状況は今後の委員会で調査していく予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期それぞれ全授業科目について実施した。15回の授業のうち14回または15回目にアンケートを行っている。原則として全履修者が回答する。

b 教員や学生への公開状況、方法等
各教員には集計結果をフィードバックするとともに学生満足度の高い教員1名を、グッドティーチング賞として表彰している。また学生へはWeb上にて集計結果を公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は心理学的知識を修得した認定心理士、公認心理師や臨床心理士を目差す心のケアの専門家、あるいは子どもや家族の支援を専門とする心理職の育成を目標に教育・研究を行うこととしている。設置認可後に公認心理師法が施行されたためカリキュラム改編を見直しつつ、設置の趣旨・目的の達成に向け、取り組んでいる。開設時の留意事項については厳粛に受け止め改善に努めているが、特に若手教員の確保については積極的に取り組み、改善されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は平成30年5月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開済み。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒107-8402

東京都港区赤坂4-1-26

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月1日)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月1日)		
学部長	(タカハシ タイ) 高橋 泰 (平成30年4月1日)	(ナカタ アキノリ) 中田 光紀 (令和2年4月1日)	一身上の都合 (2)
学科長等	(オバタ ヨウイチ) 小畑 洋一 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科 学士(医療マネジメント学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	一年次一人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	60人 () [若干名]	() []	60人 () [若干名]	() []	60人 () [若干名]	() []	1.01倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	122 (-) [-]	() []	129 (-) [1]	() []	117 (-) [1]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	111 (-) [-]	() []	127 (-) [1]	() []	116 (-) [1]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	107 (-) [-]	() []	107 (-) [1]	() []	88 (-) [-]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	54 (-) [0]	() []	66 (-) [1]	() []	62 (-) [-]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.9		1.1		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	54 [-] (-)	- [] ()	53 [1] (-)	- [] ()	62 [-] (-)	- [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		66 [-] (-)	- [] ()	65 [1] (1)	- [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		51 [-] (-)	- [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	54 [-] (-)		119 [1] (-)		178 [1] (1)		[] ()		[] ()		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	54 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への進学希望(1名)
令和元年度	119 人	3 人	平成30年度	1 人	0 人	除籍(1名)
			令和元年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2)
令和2年度	178 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		4 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{54} = \boxed{1.85} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{119} = \boxed{2.52} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{178} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	2								12
	コミュニケーション概論	1234前	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234前	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2			1					
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234前	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2			1					1
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1					2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1			1					2
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1			1					
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1			1					1
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1			1					1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1			1					1
英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1			1					1	
英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1			1					1	
中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1	
中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1	
健康科学理論	1234前	1								1	
健康科学実践	1234後	1								1	
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2			1					
	関連職種連携論	2後	2								1
	関連職種連携実習	4前	1				1				
	保健医療福祉制度論	1234前	2								1
	リスクマネジメント論	1234前	2			1					
	災害医療論	1234後	2								1
	医療概論	1前	2			1					
	経営学	1前	2			1					
	会計学	1前	2			1					
	医療管理総論	1後	2			1					
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2			1					
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2			1					
	人体構造・機能論	1前	2			1					
	臨床医学総論	1前	2			1					
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後	1			1					
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2			1					
	簿記論Ⅱ(応用)	2前	2			1					
	簿記演習	2後	1			1					
	医療財務会計論	2後	2			1					
現代保健医療福祉事情	1後	2			1						
医学・医療用語	1前	2			1						
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後	2			1						
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後	2			1						
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前	2			1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								10
	コミュニケーション概論	1234後	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2				1				
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2								1
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1				1				2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1				1				2
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1					1			
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1					1			
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1								1
英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1								1	
英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1	
中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1	
中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1	
健康科学理論	1234前	1								1	
健康科学実践	1234後	1								1	
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2								1
	関連職種連携論	2後	2					1			1
	関連職種連携実習	4前	1				1				1
	保健医療福祉制度論	1234後	2					1			
	リスクマネジメント論	1234前	2					1			
	災害医療論	1234後	2								2
	医療概論	1前	2					1			
	経営学	1前	2					1			
	会計学	1前	2						1		
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2						1		
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2					1			
	人体構造・機能論	1前	2					1			
	臨床医学総論	1前	2					1			
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後	1						1		
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2						1		
	簿記論Ⅱ(応用)	2前	2						1		
	簿記演習	2後	1						1		
	医療財務会計論	2後	2						1		
現代保健医療福祉事情	1後	2					1				
医学・医療用語	1前	2					1				
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後	2					1				
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後	2					1				
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前	2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1						
	データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			1						
	データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		1						
	データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		1						
	ゼミナールⅠ(入門)	1通	2				2	1				
	ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2				2	1				
	ゼミナールⅢ(応用)	3通	2				4					
	ゼミナールⅣ(発展)	4通	2				4					
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2									1
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2								1
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2								1
	介護報酬請求論	2後		2								1
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1						
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1						
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2			1						
	地域包括ケア論	2前		2		1						
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1						
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1					
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2			1						
	人的資源管理論	2後		2			1					
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2			1					
	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2			1					
	診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2			1					
	国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1					
	国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2			1					
	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1					
	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1					
	薬学概論	2後		2								1
	医療福祉施設実習	3通	8				4					
	経営戦略論	3前		2			1					
	経営組織論	3前		2			1					
	医療管理会計論	3前		2				1				
	経営分析論	3前		2			1					
	マーケティング論	3前	2				1					
	マーケティング・リサーチ	3後		2			1					
	病院原価計算論	3後		2				1				
	社会福祉運営管理論	3後		2			1					
	地域医療計画論	3前		2			1					
	医療福祉マーケティング論	3後	2				1					
	診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1						
	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1					
	診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1					
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1						
介護制度論	3後		2								1	
ケア・マネジメント論	3後		2								1	
保健医療制度論	3前		2		1							
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1						
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2			1						
小計(75科目)	-											
合計(108科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1						
	データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2						
	データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2						
	データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2						
	ゼミナールⅠ(入門)	1通	2				2	3				
	ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2				2	2				
	ゼミナールⅢ(応用)	3通	2				3	1		1		
	ゼミナールⅣ(発展)	4通	2				3	2		1		
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2									1
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2								1
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2								1
	介護報酬請求論	2後		2								1
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2							1		
	地域包括ケア論	2前		2								1
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2				1					
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2									1
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1					
	人的資源管理論	2後		2			3					
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2						1		
	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2						1		
	診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2								1
	国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2				1				
	国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2								1
	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2				1				1
	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2				1				1
	薬学概論	2後		2								1
	医療福祉施設実習	3通	8				4	2		1		1
	経営戦略論	3前		2			1					
	経営組織論	3前		2			1					
	医療管理会計論	3前		2				1				
	経営分析論	3前		2			1					
	マーケティング論	3前	2				1					1
	マーケティング・リサーチ	3後		2			1					1
	病院原価計算論	3後		2				1				
	社会福祉運営管理論	3後		2			1					1
	地域医療計画論	3前		2				1				
	医療福祉マーケティング論	3後	2				1					1
	診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1						
	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1					1
	診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1					1
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1					1	
介護制度論	3後		2				1					
ケア・マネジメント論	3後		2								1	
保健医療制度論	3前		2		1				1			
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2					1				
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2									
小計(75科目)	-											
合計(108科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								11
	コミュニケーション概論	1234後	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2				1				
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2				1				
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1				1				1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1				1				1
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1				1				
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1				1				
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1				1				
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2			1				
	関連職種連携論	2後	2			1					
	関連職種連携実習	4前		1				1			
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2			1				
	災害医療論	1234後		2							1
	医療概論	1前	2				1				
	経営学	1前	2				1				
	会計学	1前	2					1			
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2				1				
	人体構造・機能論	1前	2				1				
	臨床医学総論	1前	2				1				
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後		1			1				
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2					1			
	簿記論Ⅱ(応用)	2前		2				1			
	簿記演習	2後		1				1			
	医療財務会計論	2後		2				1			
	現代保健医療福祉事情	1後	2				1				
医学・医療用語	1前		2			1					
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後		2			1					
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後		2			1					
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前		2			1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								11
	コミュニケーション概論	1234後	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2					1			
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2					1			
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1					1			2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1					1			2
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1					1			
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1					1			
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1					1			
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2				1			
	関連職種連携論	2後	2				1				1
	関連職種連携実習	4前		1					1		
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2			1				
	災害医療論	1234後		2							1
	医療概論	1前	2					1			
	経営学	1前	2					1			
	会計学	1前	2						1		
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2					1			
	人体構造・機能論	1前	2					1			
	臨床医学総論	1前	2					1			
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後		1				1			
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2						1		
	簿記論Ⅱ(応用)	2前		2					1		
	簿記演習	2後		1					1		
	医療財務会計論	2後		2					1		
	現代保健医療福祉事情	1後	2					1			
医学・医療用語	1前		2				1				
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後		2				1				
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後		2				1				
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前		2				1				

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1					
データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2					
データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2					
データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2					
ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			2	2	1			
ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			3	3	1			
ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			3	4	1	1		
ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			3	4	1	1		
診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2								1
診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2							1
診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2							1
介護報酬請求論	2後		2							1
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2					1			
地域包括ケア論	2前		2		1					
医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1					
医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1				
医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2			1					
人的資源管理論	2後		2			1				1
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2			1				
診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2			1				
診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2			1				
国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1				
薬学概論	2後		2							1
医療福祉施設実習	3通	8			1	2				
経営戦略論	3前		2		1					
経営組織論	3前		2					1		
医療管理会計論	3前		2							
経営分析論	3前		2		1					
マーケティング論	3前	2								
マーケティング・リサーチ	3後		2							
病院原価計算論	3後		2				1			
社会福祉運営管理論	3後		2			1				
地域医療計画論	3前		2			1				
医療福祉マーケティング論	3後	2								
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1					
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1				
介護制度論	3後		2							1
ケア・マネジメント論	3後		2							1
保健医療制度論	3前		2		1					
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1				
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2							
小計(75科目)	-									
合計(108科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1					
データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2					
データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2					
データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2					
ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			3	2				
ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			3	2				
ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			3	4		1		
ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			3	4		1		
診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2								1
診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2							1
診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2							1
介護報酬請求論	2後		2							1
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2						1		
地域包括ケア論	2前		2							1
医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1					
医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1				
医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1				
人的資源管理論	2後		2			4				
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2						1	
診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2				1			
診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2				1			
国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1				
薬学概論	2後		2							1
医療福祉施設実習	3通	8			1	2				
経営戦略論	3前		2		1					
経営組織論	3前		2							
医療管理会計論	3前		2							
経営分析論	3前		2		1					
マーケティング論	3前	2								
マーケティング・リサーチ	3後		2							
病院原価計算論	3後		2							
社会福祉運営管理論	3後		2				1			
地域医療計画論	3前		2				1			
医療福祉マーケティング論	3後	2								
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1					
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1				
介護制度論	3後		2							1
ケア・マネジメント論	3後		2							1
保健医療制度論	3前		2		1					
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1				
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2							
小計(75科目)	-									
合計(108科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理学」から「心理学概論」に変更。併せて兼任・兼任教員の配置を「12」から「11」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「コミュニケーション概論」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療福祉論」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「生物学」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・担当教員配置を見直し、「大学入門講座Ⅰ」の兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員配置を見直し、「大学入門講座Ⅱ」の兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員配置を見直し、「英語CALLⅠ」の担当教員を「専任教員」から「兼任教員」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅰ」の担当教員を「専任教員」からネイティブスピーカーの「兼任教員」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅱ」の担当教員を「専任教員」からネイティブスピーカーの「兼任教員」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「経営学」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療管理総論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。併せて学内人事異動に伴い「専任教員」から「兼任教員」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療福祉関連法規」の担当教員を「専任教員」からより専門家（弁護士有資格者）の「兼任教員」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「経営学演習」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「データ処理Ⅰ」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「データ処理Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「データ処理Ⅲ」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「ゼミナールⅠ」の専任教員配置を「准教授2」「講師1」から「教授2」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ゼミナールⅡ」の専任教員配置を「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授3」「講師1」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「ゼミナールⅢ」の専任教員配置を「准教授4」から「教授3」「准教授4」「講師1」「助教1」へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「ゼミナールⅣ」の専任教員配置を「准教授4」から「教授3」「准教授4」「講師1」「助教1」へ変更。
- ・担当教員配置を見直し、「医療管理各論Ⅲ」の専任教員配置を「教授1」から「講師1」へ変更。
- ・担当教員配置を見直し、「医療福祉施設実習」の専任教員配置を「准教授4」から「教授1」「准教授2」へ変更。
- ・担当教員の昇格により、「経営戦略論」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「経営組織論」の専任教員配置を「准教授1」から未定へ変更。
- ・担当教員の昇格により、「経営分析論」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「マーケティング論」の専任教員配置を「准教授1」から未定へ変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「マーケティング・リサーチ」の専任教員配置を「准教授1」から未定へ変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「医療福祉マーケティング論」の専任教員配置を「准教授1」から未定へ変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「医療マネジメント学特別講義Ⅱ」の専任教員配置を「准教授1」から未定へ変更。

【令和元年度】

- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」「兼任1」から「教授1」「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「兼任1」から「教授1」「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退任により、「関連職種連携実習」の専任教員の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ゼミナールⅠ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員の退任により担当教員配置を見直し、「ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「教授3」「准教授3」「講師1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員の退任により担当教員配置を見直し、「ゼミナールⅢ」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」に変更。
- ・担当教員の退任により担当教員配置を見直し、「ゼミナールⅣ」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」に変更。
- ・担当教員の退任により担当教員配置を見直し、「医療管理各論Ⅲ」の専任教員の配置を「講師1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により、「診療報酬請求論Ⅲ」の教員の配置を「兼任1」から未定へ変更。
- ・教育効果を考慮し、「人的資源管理論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授4」に変更。
- ・担当教員配置を見直し、「診療情報管理Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の退任により、「医療管理会計論」「病院原価計算論」の専任教員の配置を「講師1」から未定へ変更。
- ・「マーケティング論」「マーケティング・リサーチ」「医療福祉マーケティング論」「医療マネジメント学特別講義Ⅱ」については、3年次以降の開講科目であり現在教員を選定中。

【令和2年度】

- ・担当教員の配置を見直し、「心理学概論」の兼任教員の配置を「11」から「10」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「コンピュータの基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「英語CALLⅡ(Basic)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴い、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員の着任に伴い、「保健医療福祉制度論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・感染症拡大の影響により「保健医療福祉制度論」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「災害医療論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「保健医療情報学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「ゼミナールⅠ(入門)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」から「教授2」「准教授3」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「ゼミナールⅢ(応用)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「ゼミナールⅣ(発展)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更した。
- ・担当教員が確定したため、「診療報酬請求論Ⅲ(上級)」の専任教員等の配置を「未定」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴い、「医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当科目の配置を見直し、「人的資源管理論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)」専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1(専任教員就任予定)」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「国際統計分類Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1(専任教員就任予定)」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療福祉施設実習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授4」「准教授2」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「経営組織論」の専任教員等の配置を「未定」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「医療管理会計論」の専任教員等の配置を「未定」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「未定」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「マーケティング・リサーチ」の専任教員等の配置を「未定」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「病院原価計算論」の専任教員等の配置を「未定」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の定年による退職に伴い、「社会福祉運営管理論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退に伴い、「地域医療計画論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の確定により、「医療福祉マーケティング論」の専任教員等の配置を「未定」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1(専任教員就任予定)」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1(専任教員就任予定)」に変更。
- ・担当教員の配置を見直し、「診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1(専任教員就任予定)」に変更。
- ・専任教員の就任に伴い、「介護制度論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の就任に伴い、「保健医療制度論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	72 科目	0 科目	108 科目	36 科目 []	72 科目 []	0 科目 []	108 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{108} = \boxed{1.85}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地に国際医療福祉大学市川病院を追加(H29.9.1事業承継)(30) 大学全体			
	校舎敷地	276,538㎡ 269,519㎡	0㎡	0㎡	276,538㎡ 269,519㎡				
	運動場用地	100,751㎡	0㎡	0㎡	100,751㎡				
	小 計	377,289㎡ 370,270㎡	0㎡	0㎡	377,289㎡ 370,270㎡				
	そ の 他	113,975㎡	0㎡	0㎡	113,975㎡				
	合 計	491,264㎡ 484,245㎡	0㎡	0㎡	491,264㎡ 484,245㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	(178,828㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(178,828㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス全体			
	12室	34室	3室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			研究室配置の見直しのため(元)			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科		11 40 (うち共同研究室6 5室) 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部全体 (電子ジャーナルは大学全体)	
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	6,035 [578] (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
	計	6,035 [578] (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					キャンパス全体	
	696.43㎡	85	31,610						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					キャンパス全体		
	601.62㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	25,973千円 30,000千円	2,999千円 3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	252,081千円 229,658千円	1,500千円	1,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,110千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、試算運用収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度		
医学部	6	140	-	840	-			-	平成29年度		-	
医学科	6	140	-	840	学士(医学)	1.00	1.00	-	平成29年度		千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,180	-			-	平成7年度		-	
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	0.98	1.03	-	平成7年度		栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法学)	0.99	1.00	-	平成7年度		同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法学)	0.97	1.01	-	平成7年度		同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚学)	1.03	1.08	-	平成7年度		同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法学)	1.00	1.08	-	平成14年度		同上	
放射線・情報科学科	4	110	-	480	学士(放射線・情報科学)	1.01	1.06	-	平成7年度		同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-			-	平成9年度		-	
医療福祉・マシント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マシント学)	0.98	1.07	-	平成9年度		同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-			-	平成18年度		-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.01	-	平成18年度		同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-			-	平成18年度		-	
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.07	1.08	-	平成18年度		神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.04	1.08	-	平成18年度		同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.03	1.05	-	平成18年度		同上	
福岡看護学部	4	100	-	400	-			-	平成20年度		-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.08	1.05	-	平成20年度		福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部	4	220	-	940	-			-	平成17年度		-	
理学療法学科	4	60	-	300	学士(理学療法学)	1.09	1.06	-	平成17年度		福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.03	1.00	-	平成17年度		同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.03	1.00	-	平成19年度		同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.09	1.21	-	平成25年度		同上	
福岡薬学部	6	120	-	720	-			-	令和2年度		-	
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.09	1.09	-	令和2年度		同上	

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
成田看護学部	4	100	-	400	-			-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,160	-			-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	1.06	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.06	1.05	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士(放射線・情報科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	-	480	-			-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.08	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26	
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士(医療マネジメント)	1.01	1.03	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,145	5	9,570	-	-	-	-	平成7年度	-	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.29	1.22	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士(保健医療学)	1.54	1.51	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士(看護学)			-			
					修士(助産学)			-			
					修士(言語聴覚学)			-			
					修士(生殖補助医療学)			-			
					修士(医療福祉教育・管理学)			-			
					修士(臨床検査学)			-			
					修士(災害医療学)			-			

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (遺伝カウンセリング学)	1.34	1.20	-	平成13年度	同上
					修士 (医療福祉学)			-		
					修士 (診療情報管理学)			-		
					修士 (医療ビジネス経営学)			-		
					修士 (医療福祉管理学)			-		
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-		
					修士 (自立支援介護学)			-		
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)			-		
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-		
					修士 (医療通訳・国際医療マネジメント学)			-		
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	0.96	-	平成19年度	同上
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.29	1.14	-	平成13年度	-
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.29	1.14	-	平成13年度	同上
					博士 (看護学)			-		
					博士 (助産学)			-		
					博士 (言語聴覚学)			-		
					博士 (生殖補助医療学)			-		
					博士 (臨床検査学)			-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
					博士 (医療福祉経営学)			-			
					博士 (医療福祉学)			-			
					博士 (診療情報管理学)			-			
					博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-			
					博士 (臨床心理学)			-			
					博士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	0.20	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	0.20	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.70	0.80	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.70	0.80	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.70	2.00	-	平成30年度	-	
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生学)	1.70	2.00	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.03	0.90	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.03	0.90	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	345	-	810	-	1.02	1.04	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高橋 泰 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)
専	教授	小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学士	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)
専	教授	中村 秀一 (69) <平成31年4月> 法学士	地域包括ケア論 保健医療制度論
専	教授	丸木 一成 (69) <平成30年4月> 教育学士	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)
専	教授	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情
専	教授	山本 康弘 (58) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	医療管理総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)
専	教授	篠浦 丞 (54) <平成30年4月> 修士(商学)	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論
専	教授	石川 ベンジャミン光一 (50) <平成30年4月> 博士(保健学)	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高橋 泰 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	関連職種連携論 人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)
専	教授	小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学士	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)
専	教授	中村 秀一 (69) <平成31年4月> 法学士	地域包括ケア論 保健医療制度論
専	教授	丸木 一成 (70) <平成31年4月> 教育学士	保健医療福祉制度論
専	教授	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)
兼任	教授	山本 康弘 (58) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	医療管理総論
専	教授	篠浦 丞 (54) <平成30年4月> 修士(商学)	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理)
専	教授	石川 ベンジャミン光一 (51) <平成30年4月> 博士(保健学)	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 人的資源管理論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高橋 泰 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	関連職種連携論 人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目) 人的資源管理論
専	教授	小畑 洋一 (63) <平成30年4月> 文学士	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)
専	教授	中村 秀一 (70) <平成31年4月> 法学士	保健医療制度論
兼任	教授	丸木 一成 (70) <平成31年4月> 教育学士	保健医療福祉制度論
専	教授	武藤 正樹 (70) <平成30年4月> 医学博士	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)
兼任	教授	山本 康弘 (59) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	医療管理総論
専	教授	篠浦 丞 (55) <平成30年4月> 修士(商学)	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 人的資源管理論
専	教授	石川 ベンジャミン光一 (51) <平成30年4月> 博士(保健学)	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 人的資源管理論

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高橋 泰 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	関連職種連携論 人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)
専	教授	小畑 洋一 (64) <平成30年4月> 文学士	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療福祉施設実習
専	教授	中村 秀一 (71) <平成31年4月> 法学士	保健医療制度論
専	教授	丸木 一成 (71) <平成31年4月> 教育学士	保健医療福祉制度論
専	教授	武藤 正樹 (71) <平成30年4月> 医学博士	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント) 地域医療計画論
兼任	教授	山本 康弘 (59) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	医療管理総論
専	教授	篠浦 丞 (56) <平成30年4月> 修士(商学)	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 人的資源管理論 医療福祉施設実習
専	教授	石川 ベンジャミン光一 (52) <平成30年4月> 博士(保健学)	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度) 人的資源管理論 医療福祉施設実習

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	高橋 泰 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	関連職種連携論 人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)
専	教授	小畑 洋一 (64) <平成30年4月> 文学士	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療福祉施設実習
専	教授	中村 秀一 (71) <平成31年4月> 法学士	保健医療制度論
専	教授	丸木 一成 (71) <平成31年4月> 教育学士	保健医療福祉制度論
専	教授	武藤 正樹 (71) <平成30年4月> 医学博士	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント) 地域医療計画論
兼任	教授	山本 康弘 (59) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	医療管理総論
専	教授	篠浦 丞 (56) <平成30年4月> 修士(商学)	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 人的資源管理論 医療福祉施設実習
専	教授	石川 ベンジャミン光一 (52) <平成30年4月> 博士(保健学)	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度) 人的資源管理論 医療福祉施設実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	伊藤 由美 (63) <平成31年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務) 医療福祉施設実習 社会福祉運営管理論 診療情報管理Ⅱ(専門科目A) 診療情報管理Ⅲ(専門科目B) 医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	専任	准教授	伊藤 由美 (63) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 社会福祉運営管理論 診療情報管理Ⅱ(専門科目A) 診療情報管理Ⅲ(専門科目B) 医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	専任	准教授	伊藤 由美 (64) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 社会福祉運営管理論 診療情報管理Ⅱ(専門科目A) 診療情報管理Ⅲ(専門科目B) 医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	兼任	講師	伊藤 由美 (65) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ(応用) 医療福祉施設実習 社会福祉運営管理論 医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)
専任	准教授	坂本 千枝子 (61) <平成30年4月> 博士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 国際統計分類Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ(応用) 診療情報管理Ⅳ(専門科目C)	専任	准教授	坂本 千枝子 (61) <平成30年4月> 博士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務) 国際統計分類Ⅰ(基礎) 国際統計分類Ⅱ(応用) 国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ(応用) 診療情報管理Ⅳ(専門科目C)	専任	准教授	坂本 千枝子 (62) <平成30年4月> 博士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務) 国際統計分類Ⅰ(基礎) 国際統計分類Ⅱ(応用) 国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ(応用) 診療情報管理Ⅳ(専門科目C)	専任	准教授	坂本 千枝子 (63) <平成30年4月> 博士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅣ(発展) 国際統計分類Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ(応用) 医療福祉施設実習
専任	准教授	羽田 明浩 (55) <平成32年4月> 博士(経営学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 経営戦略論 経営分析論	専任	教授	羽田 明浩 (55) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学 経営学演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 経営戦略論 経営分析論	専任	教授	羽田 明浩 (56) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学 経営学演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 経営戦略論 経営分析論 人的資源管理論	専任	教授	羽田 明浩 (57) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学 経営学演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療福祉施設実習 経営戦略論 経営組織論 経営分析論 人的資源管理論
												専任	教授	鳥崎 謙治 (65) <令和2年4月> 博士(商学)	介護制度論
専任	准教授	千葉 礼子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	英語講義Ⅰ(Primary) 英語講義Ⅱ(Basic) 英語CALLⅠ(Primary) 英語CALLⅡ(Basic) 英語会話Ⅰ(Primary) 英語会話Ⅱ(Basic)	専任	准教授	千葉 礼子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	英語講義Ⅰ(Primary) 英語講義Ⅱ(Basic) 英語CALLⅡ(Basic)	専任	准教授	千葉 礼子 (53) <平成30年4月> 修士(文学)	英語講義Ⅰ(Primary) 英語講義Ⅱ(Basic) 英語CALLⅡ(Basic)	専任	准教授	千葉 礼子 (54) <平成30年4月> 修士(文学)	英語講義Ⅰ(Primary) 英語講義Ⅱ(Basic)
専任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士(医学)	公衆衛生学 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス) 医療福祉施設実習 地域医療計画論	専任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士(医学)	公衆衛生学 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス) 医療福祉施設実習 地域医療計画論	専任	准教授	小川 俊夫 (53) <平成32年4月> 博士(医学)	公衆衛生学 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス) 医療福祉施設実習 地域医療計画論				
専任	准教授	安部 和彦 (50) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論	専任	准教授	安部 和彦 (50) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論	専任	准教授	安部 和彦 (51) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論	専任	准教授	安部 和彦 (52) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論 病院原価計算論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	中田 健吾 (47) <平成30年4月> 修士(医療経営学)							兼任	講師	中田 健吾 (47) <令和2年4月> 修士(医療経営学)			
		ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) マーケティング・リサーチ マーケティング論 医療マネジメント学特別講義Ⅱ (応用) 医療福祉マーケティング論 医療福祉施設実習 経営学 経営組織論 経営学演習									マーケティング論 リサーチ・マーケティング 医療福祉マーケティング論			
専	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	専	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	専	准教授	岡村 世里奈 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	専	准教授	岡村 世里奈 (49) <平成30年4月> 修士(法学)			
		医療福祉関連法規 人的資源管理論 海外保健福祉事情			人的資源管理論 海外保健福祉事情			海外保健福祉事情						
専	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	専	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	専	准教授	篠原 信夫 (45) <平成30年4月> 修士(理学)	専	准教授	篠原 信夫 (46) <平成30年4月> 修士(理学)			
		コンピュータの基礎			コンピュータの基礎			コンピュータの基礎						
専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	専	准教授	坪井 聡 (41) <令和2年4月> 博士(医学)			
		関連職種連携実習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 医療管理各論Ⅳ(医療の質管理) 病院原価計算論			関連職種連携実習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 医療管理各論Ⅳ(医療の質管理) 病院原価計算論			保健医療情報学 ゼミナールⅠ(入門)			保健医療制度論			
専	助教	後藤 清貴 (51) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	専	助教	後藤 清貴 (51) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	専	助教	後藤 清貴 (52) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	専	助教	後藤 清貴 (53) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)			
		ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)			ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 医療福祉施設実習									
兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士			
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	飯長 喜一郎 (73) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	飯長 喜一郎 (73) <平成30年4月> 教育学修士			
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	鹿島 晴雄 (73) <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	鹿島 晴雄 (74) <平成30年4月> 医学博士			
		心理学 人間学			心理学概論 人間学			心理学概論 人間学						
兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)			
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (63) <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (64) <平成30年4月> 博士(経済学)			
		数学			数学			数学						
兼任	教授	金野 充博 (61) <平成30年4月> 政治学士												
		保健医療福祉制度論												

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学内都合により丸木一成教授の異動が難しくなったため、小畑洋一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により山本康弘教授の異動が難しくなったため、篠浦丞教授、石川ベンジャミン光一教授、阪口博政講師に一部変更（教員審査省略）。
- ・平成30年4月石川ベンジャミン光一教授就任（教員審査省略）。
- ・担当科目追加のため、伊藤由美准教授の就任年月を平成30年4月に変更（教員審査省略）。
- ・平成30年4月1日付で羽田明浩准教授を教授に昇格（教員審査省略）。
- ・中田健吾准教授就任辞退により、羽田明浩教授、伊藤由美准教授に一部変更（教員審査省略）。平成32年4月採用で専任教員公募予定。
- ・平成30年4月後藤清貴助教就任（教員審査省略）。
- ・石山麗子教授着任に伴い、金野充博教授から変更（教員審査省略）。
- ・北村義浩教授退職のため、後藤純信教授に変更（教員審査省略）。
- ・チェンバレン暁子講師着任に伴い、千葉礼子准教授より一部変更（教員審査省略）。
- ・マシュー・マグラフリン・ジェームス講師着任に伴い、千葉礼子准教授より一部変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により宮森隆行講師の担当が難しくなったため、久永哲雄講師に変更（教員審査省略）。
- ・寺田佳孝講師退職のため、鶴田利郎講師に変更（教員審査省略）。
- ・坂本真史准教授着任に伴い、奥津康祐講師から変更（教員審査省略）。
- ・鮫川誠司准教授着任に伴い、岡村世里奈准教授から一部変更（教員審査省略）。
- ・光山奈保子准教授着任に伴い、廣瀬千秋講師から変更（教員審査省略）。

【令和元年度】

- ・阪口博政講師が平成31年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い、篠浦丞教授、後藤清貴助教に変更。また関連職種連携実習は兼任の小堀修准教授へ変更し（教員審査省略）、医療管理会計論および病院原価計算論については3年次開講科目であり現在、後任者を調整中。
- ・学内都合により中村秀一教授の担当が難しくなったため、白澤政和教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により松岡康一講師の担当が難しくなったため、白澤政和教授、渡辺元三教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により石山麗子教授の担当が難しくなったため、丸木一成教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により林真理子講師の担当が難しくなったため、村瀬真一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により久永哲雄講師の担当が難しくなったため、小高晃講師に変更（教員審査省略）。

【令和2年度】

- ・小川俊夫准教授の就任辞退により、横山和仁教授、武藤正樹教授に一部変更（教員審査省略）。
- ・伊藤由美准教授が定年により退職となり、職名を兼任講師に変更。また降旗光太郎講師に一部変更（教員審査省略）。
- ・令和元年4月島崎謙治教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和元年4月坪井聡准教授が就任（教員審査省略）。
- ・担当教員未定だった科目に中田健吾講師が就任（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、飯長喜一郎教授の担当が難しくなったため、軽部雄輝助教に変更（令和元年5月教員審査済）。
- ・自己都合等により、川上和久教授の担当が難しくなったため、小田中悠講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、青木万里教授の担当が難しくなったため、橋本和典准教授（教員審査中、令和元年5月末伝達予定）、亀山晶子助教（令和元年7月教員審査済）に変更。
- ・自己都合等により、望月聡一郎教授の担当が難しくなったため、石井美恵子教授、内海清乃助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、齋藤恵一教授の担当が難しくなったため、飯室聡教授、篠原信夫准教授、藤田烈講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、村瀬真一教授の担当が難しくなったため、山田晋之介助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、鹿島晴雄教授の担当が難しくなったため、木村伊量教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、穴水幸子准教授の担当が難しくなったため、袴田優子講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、篠原信夫准教授の担当が難しくなった一部科目を、渡邊志准教授に変更（教員審査省略）。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	9	1	0	17	0	10	5	0	1	16	0
(6)	(6)	(1)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	5	0	1	16	0	10	6	0	1	17	0
[3]	[Δ4]	[Δ1]	[1]	[Δ1]	[0]	[3]	[Δ3]	[Δ1]	[1]	[17]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{17} = \boxed{94.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{16} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	丸木 一成	H30.3	必修	大学入門講座Ⅰ	①	学内都合（他学部の都合）により就任見送り（30）		
				必修	大学入門講座Ⅱ	①			
2	教授	山本 康弘	H30.3	必修	医療管理総論	②	学内都合（他学部の都合）により兼任教員へ変更（30）		
				必修	医療管理各論Ⅰ	①			
				必修	医療管理各論Ⅱ	①			
				必修	医療管理各論Ⅲ	①			
3	准教授	中田 健吾	H30.3	必修	経営学	①	自己都合により就任辞退（30）		
				選択	経営学演習	①			
				必修	ゼミナールⅠ	①			
				必修	ゼミナールⅡ	①			
				必修	ゼミナールⅢ	①			
				必修	ゼミナールⅣ	①			
				必修	医療福祉施設実習	①			
				選択	経営組織論	③			
				必修	マーケティング論	③			
				選択	マーケティング・リサーチ	③			
4	准教授	小川 俊夫	H30.3	選択	公衆衛生学	②	自己都合により就任辞退（2）		
				必修	ゼミナールⅢ（応用）	①			
				必修	ゼミナールⅣ（発展）	①			
				必修	医療マネジメント論Ⅲ（グローバル・ヘルス）	②			
				必修	医療福祉施設実習	①			
				選択	地域医療計画論	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	18 科目	必修	14 科目	必修	2 科目	必修	2 科目
		選択	6 科目	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	24 科目	計	16 科目	計	3 科目	計	5 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	講師	阪口 博政	H31.3	選択	関連職種連携実習	②	自己都合により辞任（元）		
				必修	ゼミナールⅠ（入門）	①			
				必修	ゼミナールⅡ（基礎）	①			
				必修	ゼミナールⅢ（応用）	①			
				必修	ゼミナールⅣ（発展）	①			
				必修	医療管理各論Ⅲ	①			
				選択	医療管理会計論	③			
選択	病院原価計算論	③							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	1 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	5 科目	計	1 科目	計	2 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
5	人	必修	23	科目	必修	19	科目	必修	2	科目
		選択	9	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	32	科目	計	21	科目	計	4	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{17} = \boxed{29.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	伊藤 由美	必修	ゼミナールⅠ(入門)	①	令和2.3.31付65歳で定年退職(2)				
			必修	ゼミナールⅢ(応用)	①					
			必修	医療福祉施設実習	①					
			選択	社会福祉運営管理論	②					
			選択	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	②					
			選択	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目B)	②					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	3	科目	計	4	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全員必須科目の授業時間内に退職及び未就任の旨をあらかじめ口頭にて周知連絡をした。さらに新たな科目担当者についてはシラバスに明記し、かつWeb上で閲覧可能としている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	「医療福祉施設実習要領」を作成しているが、スケジュールや指導体制、評価方法について未だ具体的ではないため、8単位の実習科目としての事前事後学習と実習の時間配分を含めたスケジュールを明確にし、病院実習指導者と実習指導教員がどのように連携を図りどのように課題到達目標から評価までを一体的に行っていくのか、成績評価の具体的方法についての記載を追加し要領を適切に改めること。	留意事項の内容を踏まえ実習要項等関連資料を作成・修正作業中。(元) 既に実習協力医療施設を決定し、各担当者と教員との間で学生の情報を共有しながら、実習内容、目標、評価などについて記載した実習要項を作成し、学生へ配布済である。3年次夏期休業中に実習を行うことから、事前学習を行う予定である。(2)	履行中 感染症の影響により、施設での実習時間が変更となるため、代替となる学内での演習や講義を実施し、教育上支障が生じないように、現在調整中である。
設 置 時 (平成30年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	平成30年4月1日付にて50歳の教授1名、46歳の助教1名を任用した(何れも就任時年齢)。さらに今後も公募により若手教員の採用に力を入れていく。(30) 令和2年4月1日付にて41歳の准教授を任用した。(2)	履行中 今後も積極的に若手教員を任用・採用する方針を継続していく予定である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
学則に基づき大学としてFD委員会を置き、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部ではFD・SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
令和元年度には年間5回の委員会を実施。また全キャンパスのFD委員長が参加するFD委員長会議は年間2回実施し、活発な議論を行っている。

c 委員会の審議事項等
FD研修会やSD研修会の企画・実施、及び授業アンケートの実施等。

② 実施状況

a 実施内容と方法、開催状況

ア) 大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月）
キャンパスが持ち回りで主催。遠隔テレビ会議システムを使用して実施し原則全教員が参加する。外部講師を招聘しIPE、ポートフォリオなどのテーマで講演を行う。令和元年度テーマは「本学の海外保健福祉事情/海外医療体験の歴史と現状と課題」として開催した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会（2月に実施）
「発達障害の傾向のある学生への対応」をテーマとして、外部講師による講演会を開催し、斬新な視点からのアプローチについて学んだ。

ウ) 事務職員研修（年2回、9月、2月）
令和元年度テーマは、総務・人事・経理・医事。各部門長が講師となって職員向けに勉強会を実施。その後に確認テストを行い知識の定着を促す。

b 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和元年度2回の教員研修会についてはいずれも参加教員の満足度は大変高く、学生指導に有効であるとの感想が寄せられた。具体的な授業などへの反映状況は今後の委員会で調査していく予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期それぞれ全授業科目について実施した。15回の授業のうち14回または15回目にアンケートを行っている。原則として全履修者が回答する。

b 教員や学生への公開状況、方法等
各教員には集計結果をフィードバックするとともに学生満足度の高い教員1名を、グッドティーチング賞として表彰している。また学生へはWeb上にて集計結果を公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は医学の基礎及び臨床に関する知識、診療情報の取扱い、医療・福祉制度、地域包括ケアを支える職種間や地域内の連携、医療経営、人工知能やビッグデータを含む医療情報処理の基礎知識などを講義・演習・実習などを通して教育を行い、時代のニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できるような人材の育成を目差し、平成30年に開設され、令和2年4月に3期生を迎えた。知名度も徐々に向上し、令和2年度入試では本学科を第一志望とする優秀な学生を獲得することができた。

平成30年10月に(社)日本病院会より認定を受けた「診療情報管理士認定試験 受験指定校」として、本年度は1期生が診療情報管理士試験を受験する予定である。

本学科は、国家資格のある専門職を養成する学科ではなく学生自らが幅広い選択肢の中から将来の進路を決めることが求められるため、令和元年5月には「キャリア支援室」を開設し、教員やキャリアサポートの経験豊富な職員が2年次初めからという早期の就職支援に力を入れている。令和2年4月には独自の就活ハンドブックを3年生に配布し、今後は一般企業、公務員、医療機関等就職先の職種ごとにきめ細かいガイダンスを実施する予定である。

学力のみならず、人間性にも優れた、社会に求められる人材として1期生を世に送り出せるよう、今後も教育の充実に一層力を注いでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は平成30年5月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開済み。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。